

授業科目名： 英語学概論 I	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 森田 真登 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中高英語)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 (英語学)		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる (専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる (実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 ・ 中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身に付ける。 ・ 国際共通語としての英語、英語のヴァリエーション、会話で生じる含意、語や文の意味、英語の歴史の変遷、英語の音声について理解する。			
授業の概要 英語学概論Iでは、テキストに沿って、国際共通語としての英語、英語と社会的属性、発話行為・ポライトネス (語用論)、語彙、文法、音韻からみる英語らしさについても学ぶとともに、理解を深めるために具体的なケーススタディにもふれる。スクーリングではテキストの内容を包括的に扱う。			
授業計画 第1回：英語学の「新しい」概論 (テキスト1.1~1.3) 第2回：さまざまな英語①3種類のことば、3種類の英語 (テキスト2.1~2.2) 第3回：さまざまな英語②World Englishes、シンガポールの英語 (テキスト2.3~2.4) 第4回：母語英語の特徴①イギリス英語の歴史 (テキスト3.1) 第5回：母語英語の特徴②現代イギリス英語の特徴、オーストラリア英語 (テキスト3.2~3.3) 第6回：母語英語の特徴③アメリカ英語、カナダ英語 (テキスト4.1~4.3) 第7回：英語と社会的属性 (テキスト5.1~5.3) 第8回：英語の発話行為 (テキスト6.1~6.4) 第9回：ポライトネスと事例研究 (テキスト7.1~7.2) 第10回：談話分析と事例研究 (テキスト7.3~7.5) 第11回：英語文化とコミュニケーション・スタイル (テキスト8.1~8.3) 第12回：英語の非言語コミュニケーション (テキスト9.1~9.4) 第13回：語彙からみる英語らしさ (テキスト10.1~10.3) 第14回：文法からみる英語らしさ (テキスト11.1~11.3) 第15回：音韻からみる英語らしさ (テキスト12.1~12.4) 定期試験			
スクーリングでの学修 *スクーリングではテキストの内容を包括的に扱う。			
テキスト (1) 平賀正子(2016)『ベーシック 新しい英語学概論』ひつじ書房、9784894765542			
参考書・参考資料等 (1) 池上嘉彦(2006)『英語の感覚・日本語の感覚』NHK 出版、9784140910665 (2) 堀田隆一(2016)『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社、9784327401689 (3) 唐澤一友(2016)『世界の英語ができるまで』亜紀書房、9784750514697			
学生に対する評価 スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%)			